

# わんだふる

世田谷区立松沢小学校

第1学年 学年だより

令和7年12月25日(木)

校長 寺崎 晶子

1年 担任



冬休み直前号

2学期は、運動会に音楽会と、小学校生活初めての大きな行事に取り組みました。本番当日に体調不良でお休みとなってしまった子もいましたが、毎回の練習で一生懸命頑張っていた姿を担任も周りの子供たちも見てきました。また、得意不得意はそれぞれありますが、表現することを楽しみ、頑張って取り組んだことが大きな成長につながると思います。保護者の皆様には、お子様への励ましなど、ご協力いただきありがとうございました。

冬休みは、大掃除やお正月などを通して、家族のために手伝いをするよい機会となります。ぜひ、子供たちに家族の一員として役割をもたせてあげてください。また、ご飯や汁物などのよそい方、食べ方のマナーについて、見直すこともよいかと思います。

子供たちが元気に3学期を迎えることができるよう、引き続きよろしくお願いします。

## I. 2学期の学習や生活の様子（主なもの）について

	2学期の振り返り (◎成果 ▲課題)	3学期に向けて、ご家庭で意識してほしいこと
国語	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>漢字・かたかな</b></div> <p>◎正しく書こうと手本をよく見て書いています。練習の時間（授業時間や宿題）に丁寧に取り組む習慣が身に付いている児童ほど定着しています。</p> <p>▲「多い⇒大い」のように、漢字の意味を理解せずに、同じ読み方だからという理由で使い方を間違えることがあります。</p> <p>▲読めても書けないことが目立ちます。かたかなで書く言葉を知らなかったり、文の中でかたかなを使おうとする意識がなかったりしています。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>読むこと</b></div> <p>◎読むことは好きで、図書の時間や隙間時間にすすんで読書をしています。</p>	<p>「字形を整えて、大きく書く。」「漢字を活用し、文を作る。」「テスト形式で練習する。」など、それに合った学習方法を選んで、練習するといいです。</p> <p>かたかなで表す言葉をテーマに沿って（果物・生き物など）書いたり、かたかなを使ってしりとりをしたりするなど、遊び感覚で書くといいです。</p> <p>音読の際、文字を読むのではなく、文のまとまりで読むことを意識するように指導しています。読書では「どんなお話か。」</p>

	<p>▲「どんなことが書かれている文なのか。」を意識しながら読むことは、個人差が大きいです。</p>	<p>「どんなところが面白かったか。」など感想を聞くといいです。（読み聞かせも○）</p>
	<p>◎詳しい文を3文以上書けるようになつてきました。 ◎気持ちや様子を表す言葉を使って文を書けるようになりました。</p> <p>▲自分の書いた文の間違いに、中々気付けていました。</p>	<p><b>書くこと</b></p> <p>書く機会を増やしたり、友達の文と読み比べたりすることで、よい文章の書き方を真似しながら表現力が高められるようにします。 ご家庭では、簡単な手紙のやりとりをするなど、楽しく書く機会を増やすこともおすすめです。</p>
算数	<p>◎「10のまとめ」を意識して計算できるようになりました。計算の仕方を説明したり、補助数字や囲み線・斜線を書いて計算したりしました。</p> <p>▲10までの計算が身に付いておらず、繰り上がりや繰り下がりの計算にとても時間がかかっています。（個人差が大きい） ▲文章題では、問題をよく読まずに間違えています。</p>	<p><b>たしざん・ひきざん</b></p> <p>繰り返し練習を重ねて、正確に計算することを指導しています。家庭学習では、時間内に何問とけるか、20問で何分かかるか、など時間を意識すると自分の成長を感じながら学習に取り組むことができます。 文章題では、問題文に線や囲みを書くなどして、「どんなことを問われているのか。」を捉えられるように指導しています。家庭学習では、「何を聞かれてる？」などのアドバイスや、一緒に問題を作ってみると楽しみながら力を持つにつながります。</p> <p>*20までの計算は、2年生の筆算につながるとしても大切な学習なので、1年生のうちにできるようにすることを目標にしています。 *普段から、アナログの時計を読む経験をしておくと、今後の学習に役立ちます。</p>
生活	<p>◎絵を描くことが好きな子が多く、朝顔やチューリップの観察もよく見て描きました。 ◎リース作りやおもちゃ作りでは、自分の作りたいものに合わせて材料を集めなど、主体的に取り組みました。</p> <p>*材料集めでは、保護者の皆様にご協力いただきありがとうございました。</p>	<p>学校では、「本物に触れる」「実際にやってみる」など体験活動を大切にしています。低学年は、経験が豊かであるほど、心身共によりよく成長していきます。ご家庭でも、「自然に触れる」「手伝いをする」「体を動かして思いっきり遊ぶ」「季節を感じる」など、普段の生活の中で様々な経験をさせてあげてください。</p>

体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>短縄跳びでは、結び方やほどき方から学び、前跳び・跳躍（1回して1回跳ぶ）に挑戦しました。</li> <li>長縄跳びでは、跳ぶことはもちろん、回し手にも取り組みました。</li> <li>馬跳びでは、低い馬から背の高い馬まで跳べるように練習しました。</li> </ul>	<p>冬休みは、気温が低くなりますが、公園で縄跳びや鉄棒などを（練習ではなく）遊びながら経験する時間をとれると、体力向上につながります。</p> 
学校生活	<p>◎行事に前向きで、楽しんで取り組んでいました。</p> <p>◎友達とけんかをしても、仲直りすることができました。</p> <p>◎苦手なことでも、最後まで頑張って取り組みました。</p> <p>◎何かこぼしてしまっても、自分でふくなどして後始末ができました。</p> <p>○5分休憩や休み時間に、次の学習の準備をしたり、時計を見て行動したりするなど、見通しをもつ子が増えました。</p> <p>▲理由なく遅刻してしまうことが目立ちました。朝の時間にやることが、集団から遅れてしまっています。</p> <p>▲落とし物が多くありました。持ち物が揃わず、学習の妨げになってしまふことがあります。</p> <p>▲授業中など、人が話しているときに口をはさんでしまうことがあります。（個人差が大きいです。）</p> <p>▲給食当番で使うお玉の扱い方に苦戦していました。持ち方やよそい方を教えてています。</p>	<p>学校生活は、「楽しい・うれしい」ことはもちろん、「大変だ・困ったな」ということも同じようにあります。時間や周りに気を付けながら行動したり、「苦手でやりたくないな」と思うことに挑戦したり、よくないことをしてしまって叱られたり…そんな中で子供たちなりにとても頑張っています。</p> <p>それが、大人の思った通りの結果に至らなくても、子供の頑張りを認める声掛けをしていくことで、「次も頑張ろう」という気持ちになります。そして、頑張ったことを認めてもらえると、自己肯定感（ありのままの自分を肯定する感覚）が高まっていきます。自己肯定感が高まると、上手くいかないことに出会っても、挑戦しようとする気持ちをもてるようになります。褒めることと同じように“認める声掛け”を意識してみてください。</p> <p>切り替えが難しい場合、時間で区切りったり、視覚的にやることが分かったりすると、少しずつ自分で動けるようになると思います。</p> <p>学習の準備など、なるべく子供自身で取り組み、お家の方と一緒に確認するといいです。子供が知らないうちに“ランドセルに入っていた”となると、いつまでも自分で準備する力が付きません。まずは、“自分のものであること”を意識できるようにすることが大切です。</p>

## 2. 冬休みの宿題について

	宿題	内容・進め方
1	「書き初め」	<p>清書1枚を提出します。</p> <p>□清書した2枚のうち上手に書けた方を提出します。 (手本1枚、清書用紙2枚を配付します。)</p> <p>□2B以上の鉛筆を使用し、<u>消しゴムは使用しません。</u> (学校でも、同様に指導しています。)</p> <p>*練習する場合は、ご家庭で印刷してご使用ください。</p> <p>*<u>手本は3学期に使用します。宿題と一緒に持たせてください。</u></p>
2	生活科 「みんなのにこにこ 大きせん」  	<p>生活科の学習で考えた「にこにこ大きせん」をやり、ワークシートにまとめて提出します。</p> <p>□絵を描いたり、写真を貼ったりします。絵は、色鉛筆で描きます。</p> <p>□作戦をやって分かったことや考えたこと、気付いたことを文でまとめます。</p> <p>□保護者の方に、感想を書いていただきます。</p>
任意 (取り組みは自由です。)	☆漢字・かたかな  ☆計算 (たし算・ひき算)  ☆読書 	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで習った漢字やかたかなを練習しましょう。ノートに書いてたり、キュビナを活用したりするといいですね。</li> <li>20までのたし算とひき算の計算を練習しましょう。計算カードを使って、すぐに答えが出るようになるといいですね。キュビナも活用することができます。</li> <li>学校から2冊貸し出しています。それ以外にも様々な本を読んでみてください。</li> </ul>

\*なるべく、お子様が自分で確認しながら進められるよう、冬休みの宿題チェックカードも配付しました。3学期の持ち物も載っています。ご活用ください。

## 3. 通知表「のびゆく松沢の子」について

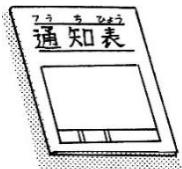
### (1) 通知表の評価について

「のびゆく松沢の子」は、その時点でその子の到達度がどの程度であるか、どのような様子であったのかをお知らせするものです。子供の成長や努力に伴い、力はどんどん変化するため、『もうすこし』がついても“だめ”ということではありません。その部分の復習をして力を補うように励ましてください。そして、今までの学習や生活を振り返り、頑張ったことやできるようになったことを認め、褒めてください。

※「学習の記録」は、「できる」「もうすこし」の2段階評価です。

## (2) 所見の内容について

1 学期	2 学期	3 学期
道徳	日本語	総合所見



## (3) ファイルの取り扱い

- ・通知表はファイルへの差し込み形式です。
- ・3学期に中身を入れたまま持たせてください。

## 4. 3学期について

### 始業式

- 日時：1月8日（木） 4時間授業（給食なし）
- 登校：8時15分～8時25分 下校：11時55分頃



### 〈持ち物〉

- 毎日セット（連絡袋・連絡帳・下じき・自由帳・筆箱・ハンカチ・ティッシュ） □上ばき
- 防災頭巾 □のびゆく松沢の子（通知表） □冬休みの宿題 □書き初めの手本 □本2冊

### 図工の持ち物

「スタンプぺったん」の学習で、身近な材料を使ってスタンプ遊びをします。凹凸や形を写せるような不要になったものを集めておいてください。持ってくる日は、連絡帳でお知らせします。

例) ペーパーやテープ類の芯、カプセル容器、プラコップ、洗濯ばさみ、段ボール、ペットボトルキャップ、緩衝材、納豆パック など

### ノート

使い終わりそうになりましたら、同じマスのノートをご家庭で購入してください。

\*算数のノートは、そろそろ使い終わる子がいます。

○国語…18mmマス（8行×12マス）

○算数…15mmマス（10行×14マス）

## 5. その他

### 冬休みの生活

外での遊び方やおうちの方との約束を改めて確認してください。また、体調にも気を付けてお過ごしください。

### 白衣

終業式前日（24日）まで給食があります。3学期始業式に持たせてください。

## 学校で保管するもの

2学期の終わりに持ち帰らず、学校で保管するものがあります。

### <教科書・副読本>

道徳・体育・日本語・図工・生活・音楽・書写

### <教材>

油粘土・たんけんバッグ・学習ファイルなど

## 学習道具の補充と確認

<道具箱> 文房具の手入れ、足りないものの補充、記名の確認をしてください。

はさみ

水のり：図工や剥がれにくくしたいものに使用しています。

スティックのり：プリントを貼り合わせたり、ノートに貼ったりするときに使用しています。

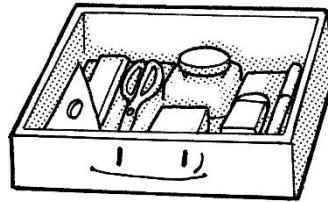
色鉛筆：12色程度のもの。短い色やない色を補充してください。

クレパス：芯が紙に埋もれている場合は、紙を剥いて芯を出しておいてください。

算数ブロック：名前が薄れていたり、剥がれていいたら、名前が分かるようにしてください。

セロテープ：図工や生活科で使用しています。

ボンド：図工や生活科で使用しています。



### <絵の具>

パレット、筆、雑巾を洗って十分に乾かし、きれいなものを入れてください。

筆は割っていないか、絵の具のチューブから色が出るかなどを確認してください。(中で固まっている場合があります。)

### <鍵盤ハーモニカ>

ホースを洗い、完全に乾かしてください。

鍵盤が汚れたら、柔らかい布で拭き取ってください。

### <筆箱>

鉛筆5本程度（毎日家で削ります。キャップは必要ありません。）

赤鉛筆1本

消しゴム1個

15cm定規（折り畳み式でないもの）

名前ペン（油性）



### <ランドセル>

替えのハンカチ、予備のポケットティッシュ、マスクを入れておくと安心です。